

学校教育目標	○ 助け合う子 ◎ 考える子【重点目標】 ○ きたえる子	【目指す学校像】	○ 児童が、「学びがい」「協働意識」「心と体の元気」を感じる学校 ○ 児童が、「なりたい自分」を目指す学校
		【目指す児童・生徒像】	○ すすんで学び、自分を高めようとする子ども ○ 自他を大切にし、共に伸びようとする子ども ○ 心と体に関心をもち、たくましく生きようとする子ども ○ 自分のよさを自覚し、自己決定ができる子ども
		【目指す教師像】	○ 温かな教育をする教師 ○ 子どもを第一に考えて思考する教師 ○ 共成小の教育に貢献する教師 ○ マネジメントできる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	児童が主体的に学ぶ学習者中心の授業改善により、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る。	「個別最適な学び」を意識した授業改善。	・指導の個別化 ・学習の個性化 ・個に応じた指導 ・特別支援の視点	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 何を学習するのか理解している…8割以上 3 何を学習するのか理解している…7割以上 2 何を学習するのか理解している…6割以上 1 何を学習するのか理解している児童が6割未満	4	中間報告の際に、理解が不十分であったことが、実践を積み重ねることで成果に表れた。	一人一人の学力に合わせた先生方の努力が分かる。	A	研修等を実施し、「個別最適な学び」を意識して授業改善を行い、授業力を向上させる。
		「協働的な学び」を意識した授業改善。	・考えを共有する場の設定 ・児童同士の教え合いの場 ・ICTの効果的活用 ・多様な他者との関わり	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 友達と考えを共有することが楽しい…8割以上 3 友達と考えを共有することが楽しい…7割以上 2 友達と考えを共有することが楽しい…6割以上 1 友達と考えを共有する楽しさを感じている児童が6割未満	4	ICTを効果的に活用することで、「協働的な学び」を意識して様々な指導の工夫ができた。	児童同士の教え合いはとも大それたと思った。発表の場を多く設けてほしい。	A	単元や授業の中に、考えを共有する場を設定し、「協働的な学び」を推進する。
		学ぶことの楽しさと学びの実感のある授業づくり。	・導入の工夫 ・1時間1単元の見通し ・1時間1単元の学びの自覚 ・スモールステップで評価	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	4	4 楽しく学習でき、学習したことが分かる…8割以上 3 楽しく学習でき、学習したことが分かる…7割以上 2 楽しく学習でき、学習したことが分かる…6割以上 1 楽しく学習でき、学習したことが分かる児童が6割未満	4	一人一人に課題意識をもたせることで、学ぶ楽しさを実感させることができた。	先生方が研修を通して、授業を工夫している姿に感心しました。これからも努力を続けてほしい。	A	一人一人のことを考えた指導の工夫から、振り返りの時間を大切に、次時につながるようにさせる。
		発達段階に応じた「自律型学習者」を育てる授業づくり。	・教師のファシリテーション ・学び方の指導 ・自己選択・決定の場 ・自主学習の取組	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 自分で決めた学習を進めることができる…8割以上 3 自分で決めた学習を進めることができる…7割以上 2 自分で決めた学習を進めることができる…6割以上 1 自分で決めた学習を進めることができる児童が6割未満	3	授業づくりを工夫する意識はしているが、発達段階に合わせて取り組むことが課題である。	学校の授業の改善だけでなく、家庭学習の充実も必要ではないかと感じている。親の意識を高めたい。	B	授業づくりを工夫するとともに、家庭学習の充実も意識して取り組む。
豊かな心	児童が自尊感情を持ち、安心な環境の中で、自他を大切にしながら協働できる学校を創る。	全ての児童にとっての「安心基地・居場所づくり」。	・SOSの出し方指導 ・いじめ未然防止早期解決 ・相談しやすい雰囲気 ・個別の配慮・支援の充実	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	4	4 学校で安心して学習・生活できている…6割以上 3 学校で安心して学習・生活できている…7割以上 2 学校で安心して学習・生活できている…6割以上 1 学校で安心して学習・生活できている児童が6割未満	4	5・11月にQUに取り組み、2回の研修によって学級の実態を把握することが、効果的だった。	先生方の研修は大切で、さらに子供たちを理解し守ってほしい。	A	WEBQUを次年度は活用し、児童の実態をより理解して、安心して学習できる環境づくりに努めていく。
		互いに認め合い、自他を尊重する人権感覚の醸成。	・友達の良いところ探し ・感謝を伝え合う活動 ・道徳授業の質の向上 ・「ログトレ」認知機能強化	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 自分も相手も大切にしている…8割以上 3 自分も相手も大切にしている…7割以上 2 自分も相手も大切にしている…6割以上 1 自分も相手も大切にしている児童が6割未満	4	代表委員会を中心に挨拶運動や優しい言葉かけ運動を行い、自他を大切にしていた。	学校公開など参観して、子供たちが素直で優しい様子が伺えました。地域の活動にも参加してほしい。	A	児童がすすんで考えて行動できる機会を増やし、自他ともに大切にする心を育てていく。
		他者となつながら、協働する喜びの実感。	・やさしい言葉 ・挨拶 ありがとう アイコンタクト ・異学年交流による成功体験 ・児童集会活動の充実	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 みんなと一緒に活動することが楽しい…8割以上 3 みんなと一緒に活動することが楽しい…7割以上 2 みんなと一緒に活動することが楽しい…6割以上 1 みんなと一緒に活動する楽しさを感じている児童が6割未満	4	たてわり活動や集会が増え、他者とのつながりを意識させることができた。	自分が嫌だったことなど、自分の言葉でしっかりと伝えられることがよいと思った。	A	児童集会やたてわり活動の内容を充実させ、他者とのつながりを感じさせ、協働する意識を高めていく。
		運動する楽しさと体力向上を実感できる授業づくりと日常の運動推進。	・体育講師の有効活用 ・共成サーキットの取組 ・運動遊びの充実 ・元氣アップガイドブック活用	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 体力が付いてきている実感…8割以上 3 体力が付いてきている実感…7割以上 2 体力が付いてきている実感…6割以上 1 体力が付いてきている実感がある児童が6割未満	4	運動を楽しむ活動を増やし、意識は向上しているが、実質的な成果は表れていない。	運動が苦手な子供たちに、対して丁寧な指導も必要だと思った。	A	体力テストで児童の課題を把握し、運動を楽しむがに指導を工夫する。
健やかな体	児童が自分の「心と体の元気」を感じながら、体力向上と健康について考え実践する態度を育む。	望ましい生活習慣と安全な生活のための実践的態度の育成。	・家庭と連携したGM60分 ・食育教育の充実 ・安全指導の充実 ・児童の危険回避能力向上	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 全教員が3項目全て取り組むことができた。 2 全教員が2項目全て取り組むことができた。 1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。	3	4 基本的な生活習慣が身に付いている…8割以上 3 基本的な生活習慣が身に付いている…7割以上 2 基本的な生活習慣が身に付いている…6割以上 1 基本的な生活習慣が身に付いている児童が6割未満	3	児童の危機回避能力は高い。基本的な生活習慣が課題である。	保護者にも経験が少なく、もつと地域と力を合わせてフォローしていくことが大切と思った。	B	毎月の安全指導や避難訓練を徹底し、保護者会等で生活習慣に関しても呼びかけたい。
		命の教室	・命の教室 ・ストレス対処法 ・前向きな言葉かけ ・心のもち方指導	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。 3 一部の教員が前向きな言葉かけや心のもち方を指導した。 2 一部の教員が前向きな言葉かけや心のもち方を指導した。 1 一部の教員が前向きな言葉かけや心のもち方を指導した。	4	4 困ったときに前向きな気持ちをもてる…8割以上 3 困ったときに前向きな気持ちをもてる…7割以上 2 困ったときに前向きな気持ちをもてる…6割以上 1 困ったときに前向きな気持ちをもてる児童が6割未満	3	全教員の意識が向上し、実践力が高まっている。少しずつ児童への働きかけが変化していった。	命の教室などの出前授業を通して、子供たちに教えていくことは大切だった。	A	命の教室など出前授業を通して、心のもち方を学び、教員と児童ともに前向きな言葉かけを心がけた。
		しなやかで折れない心(レジリエンス)の醸成。	・一人一人の活躍の場 ・学級会活動の充実 ・主体性を実感できる行事 ・共成会議や実行委員会	4 全教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。 3 一部の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。 2 一部の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。 1 一部の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。	4	4 学校や学級で役に立っている…8割以上 3 学校や学級で役に立っている…7割以上 2 学校や学級で役に立っている…6割以上 1 学校や学級で役に立っていると感じている児童が6割未満	4	児童が主体的に活動を工夫したことにより、自己有用感が高まり、一体感が生まれた。	小さいことでも成功体験は将来への自信につなげられるので続けてほしい。	A	主体性を実感できる行事で、実行委員一人一人の活躍する場を設け、児童の自己有用感を高めていく。
		温かく、共感的な人間関係に支えられた望ましい学級集団づくり。	・学級ルールの徹底 ・安心して挑戦できる風土 ・2回のQUの結果活用 ・SSTやP・Aの活用	4 全学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。 3 一部の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。 2 一部の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。 1 一部の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。	4	4 クラスは楽しい…8割以上 3 クラスは楽しい…7割以上 2 クラスは楽しい…6割以上 1 クラスが楽しいと感じている児童が6割未満	4	学級経営研修で学んだことをすぐに実践していくことで、学級の雰囲気は向上していると感じた。	「クラスは楽しい」の質問で、8割以上の解答があったことは日常的に学級経営がうまくいっている証だと感じた。	A	QUの結果を活用した学級経営研修を実施し、理解を深めたいので、学級を支えていくようにする。
輝く未来	多くの人と、かかわり合い、学び合い、認め合いのある温かな集団の中で、児童が自己のよさを発揮し、自己決定しながら「なりたい自分」を目指す学校を創造する。	「なりたい自分」の実現に向け、自己選択・自己決定できる力の向上。	・キャリアバムの活用 ・自己選択の場の設定 ・スモールステップでの成功体験の積み上げ	4 全教員が児童の意欲を認め、児童に伝え準備つけた。 3 一部の教員が児童の意欲を認め、児童に伝え準備つけた。 2 一部の教員が児童の意欲を認め、児童に伝え準備つけた。 1 一部の教員が児童の意欲を認め、児童に伝え準備つけた。	4	4 自分で決めて行動できる…8割以上 3 自分で決めて行動できる…7割以上 2 自分で決めて行動できる…6割以上 1 自分で決めて行動できる児童が6割未満	4	研修を通して、学んだことをすぐに生かして素晴らしいと感じた。	研修を通して、学んだことをすぐに生かして素晴らしいと感じた。	A	授業の中で自己選択・自己決定する場を設けることで、児童のすすんで行動できるようにしていく。